人類の出現と文明

名前

問1　中国の春秋戦国時代という社会の混乱期において、親族間の情愛を基本とする「仁」の心を重視し、道徳によって国を治めるべきだと説いた思想家は誰か。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 朱子
2. 孔子
3. 老子
4. 孟子

問2　大航海時代以降、南アメリカ大陸の太平洋側に位置する多くの国々では、現在もスペイン語が公用語として使用されています。このように、特定の地域の言語や文化がヨーロッパの国家の影響を強く受けることになった歴史的な経緯として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山形県公立入試 類似）

1. イギリスがこの地域の国々と自由貿易協定を結び、英語教育を普及させたため
2. スペインがこの地域を植民地として支配し、自国の言語や宗教を広めたため
3. 地元の先住民がヨーロッパとの交流を深める中で、自発的にスペイン語を国語として採用したため
4. ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を占領し、ラテン系の文化を強制したため

問3　古代ギリシャにおいて、山がちで複雑な地形の影響を受け、人々がいくつかのまとまりごとに作った独立した都市国家を何と呼びますか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 封建領主
2. ギルド
3. ポリス
4. 帝国

問4　古代文明では、政治の記録や商業のやり取り、カレンダーの作成などのために独自の文字が発明されました。文明の名称と、その拠点となった河川、および使用された文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. エジプト文明 – ナイル川 – 象形文字（ヒエログリフ）
2. メソポタミア文明 – インダス川 – 楔形文字
3. 中国文明 – チグリス・ユーフラテス川 – 甲骨文字
4. インダス文明 – 黄河 – インダス文字

問5　古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。
2. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。
3. 各地に都市国家（ポリス）が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。
4. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。

問6　オーストラリアの都市であるメルボルンにおいて、ヨーロッパ諸国の都市に見られるような重厚な石造りの建築物や教会が立ち並ぶ景観が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため
2. 金鉱の発見以降、多国籍な移民がそれぞれの国の様式を持ち寄って折衷的な街作りを行ったため
3. アメリカ合衆国の統治下で、キリスト教の布教とともに西洋的な都市開発が進められたため
4. オランダがインド洋貿易の拠点として開発し、自国の港町を模した景観を作り上げたため

問7　西暦1世紀、日本では倭の奴国の王が中国の漢（後漢）から金印を授かったとされる時期において、地中海を囲む広大な領土を支配していたローマ帝国の様子として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 佐賀県公立入試 類似）

1. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとするルネサンスの動きが広まり、レオナルド・ダ・ヴィンチらが活躍した。
2. メソポタミアにおいて、粘土板に商取引の記録を残すための楔形文字が発明され、高度な文明が築かれた。
3. 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。
4. アテネなどのポリス（都市国家）を中心に、市民が政治に参加する民主政治が最も盛んに行われた。

問8　日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。
2. ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。
3. チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。
4. インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。

問9　弥生時代から古墳時代にかけての道具の使用目的や技術的特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 稲作が始まったことで、土を耕すための道具として縄文土器が各地で広く使われるようになった。
2. 定住生活が始まったことで、木の実を粉にするために、網目の文様をつけた磨製石包丁が考案された。
3. 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。
4. 狩猟や採集が中心の生活の中で、食料を保存するために表面が硬い打製石器が開発された。

問10　日本と中国の歴史的交流について述べた記述として、紀元1世紀に倭の奴国の王が金印を授かった時代、8世紀に僧の鑑真が来日した時代、13世紀に弘安の役が起きた時代の三つの時期における、中国の王朝名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 漢 ・ 隋 ・ 宋
2. 秦 ・ 唐 ・ 明
3. 秦 ・ 宋 ・ 元
4. 漢 ・ 唐 ・ 元

問11　日本の歴史における文化財や出来事について、年代の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。鑑真が関わった唐招提寺の建立、重源らが中心となった東大寺の再建、足利義政による銀閣（慈照寺）の建立、石見銀山などの銀鉱山の開発、徳川家康を祀る日光東照宮の造営という5つのトピックの前後関係を基準に考えなさい。（2015年 山口県公立入試 類似）

1. 唐招提寺の建立 → 銀閣の建立 → 東大寺の再建 → 日光東照宮の造営 → 銀鉱山の開発
2. 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営
3. 東大寺の再建 → 唐招提寺の建立 → 銀鉱山の開発 → 銀閣の建立 → 日光東照宮の造営
4. 銀閣の建立 → 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営

問12　弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。
2. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。
3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。
4. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。